

議会だより

- 一般会計重点事業とポイント……………P 2～3
- 平成25年年度予算の概要……………P 4～5
- 一般質問（6名が登壇）……………P 6～11
- 議会活性化特別委員会設置……………P 12
- 事務組合活動報告、請願書……………P 13
- 常任委員会活動報告……………P 14～17
- 追跡調査！議員の質問とその後の方……………P 18～19
- ようこそみなべ町へ……………P 20

《3月定例会》

重点事業と注目ポイント

教育

- 高小・中学校舎改修工事費 …… 1億8,500万円
- 千里ヶ丘球場改修工事費 …… 2億8,800万円
- 給食施設改修工事（米飯施設）… 1億1,000万円
- 国体推進費 …… 424万円



千里ヶ丘球場

ここがポイント

- ・千里ヶ丘球場は、完成以来大きな改修をしておらず、老朽化が深刻な状態にあります。また国体軟式野球予選会場に指定されていることもあり改修するものです。工事費2億8,800万円のうち、8,900万円が宝くじ助成金、残りの約2億円が合併特例債によりまかなわれます。平成25年末の完成を目指し、それまで使用はできません。

保険・福祉

- 子ども医療費 …… 4,668万円
- 児童手当 …… 2億5,710万円
- 小児インフルエンザ予防接種補助金… 250万円
- 高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種… 483万円



思春期体験学習

ここがポイント

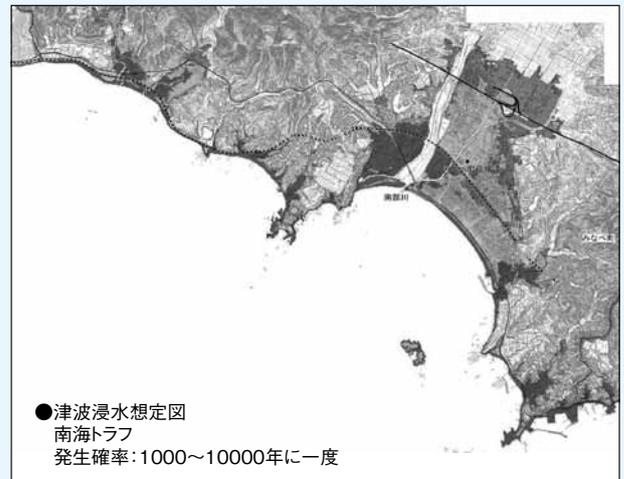
- ・昨年度から始めた高齢者用肺炎球菌ワクチンの接種については、70才以上に対象者を広げ、接種費用の補助を行い重症化の予防を図るものです。
- ・従来40才以上が対象であったミニドックを39才に引き下げ健康管理を見直すきっかけづくりにします。

総務・防災

- ホームページ更新委託料 …… 344万円
- アマチュア無線免許取得費用助成 …… 113万円
- 津波ハザードマップ作成委託料 …… 350万円
- 防災無線屋外子局工事 …… 570万円



● 津波浸水想定図
東海・東南海・南海3連動地震
発生確率：100～150年に一度



● 津波浸水想定図
南海トラフ
発生確率：1000～10000年に一度

ここがポイント

- ・ホームページ更新委託料は、従来の町のホームページではタイムリーな情報提供が困難になっており、そういう問題を解決すべくリニューアルするものです。
- ・津波ハザードマップ作成委託料は、本年3月に発表された県津波浸水予想地域を基に最新のマップを作成します。
- ・アマチュア無線免許取得助成金の目的は、東北地方での経験談から災害時の有効性がたとえ、消防団員に免許取得してもらうべく、その費用の一部を助成するものです。

平成25年度 一般会計

建設・土木

- 橋梁長寿命化修繕工事 …………… 5,030万円
- 町道維持補修工事 …………… 4,000万円
- 町道改良工事 …………… 3,000万円
- 小倉谷農免道路工事費 …………… 7,000万円



長寿命化修繕工事対象 古川橋

👉 ここがポイント

・橋梁長寿命化修繕工事について、今年度は6橋梁が対象です。今後は耐震化に向けての取組が必要となってきますが、当面は震災時の一時輸送となる主要な橋梁の長寿命化を主眼に取り組む予定です。

産業

- あきんどカーニバル補助金 …………… 200万円
- 梅ラジオキャンペーン …………… 963万円
- 鶴の湯温泉管理事業費 …………… 1,256万円
- うめ振興館費 …………… 1,885万円

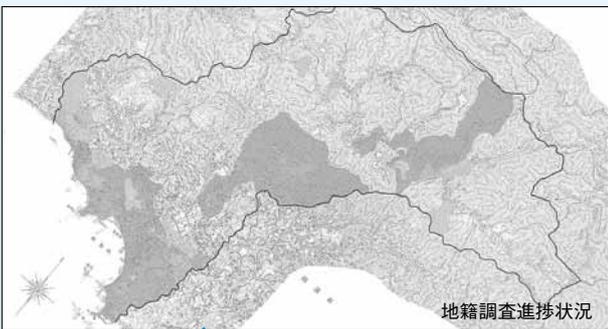


👉 ここがポイント

・梅ラジオキャンペーンは、みなべ町のブランド「紀州みなべの南高梅」をラジオを通じて全国に広め、梅の消費拡大を図るために全国主要ラジオ局を通じて、青梅編（6月）、贈答編（中元7月、歳暮12月）、梅林編（2月）のPRをするものです。

行財政・その他

- 地籍調査事業費 …………… 1億70万円
- 電算業務委託料 …………… 1,237万円
- 地方税電子申告（エルタックス）
支援サービス委託料 …………… 115万円



地籍調査進捗状況

👉 ここがポイント

・地籍調査は土地の境界を明確化することにより、大切な財産と権利を守ることを目的に国の施策として推進している大事業です。みなべ町内の進捗状況は31%です。今年度の対象地区は徳蔵、西岩代、軽井川となっています。

生活・環境

- 一般廃棄物収集運搬委託料 …………… 6,817万円
- 田辺市衛生施設組合 …………… 6,405万円
- リサイクル物搬出処理委託料 …………… 1,200万円
- ゴミ貯留施設建設工事費負担金 …… 2,000万円



👉 ここがポイント

・みなべ町のごみ焼却場は平成26年3月に稼働停止し、以降の可燃ごみはすさみ町に焼却処理を委託することになります。「ゴミ貯留施設建設工事費負担金」はみなべ町のごみを受け入れることにより、すさみ町の処理能力をオーバーしてしまう恐れがあり、その処理しきれないごみを一時的に保管する施設を建設するものです。

防災、教育・体育施設の充実

— 予算審査特別委員会 —

本定例会において、初の試みとして議長を除く13人の議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、委員長に竹本議員、副委員長に北谷議員を互選により決定いたしました。平成25年度一般会計予算、6特別会計予算、水道事業会計予算を、3月12日から15日の4日間にわたり、町長も同席し、担当課会計ごとに慎重な審査をおこないました。

3月定例会

3月定例会は、3月4日から19日までの16日間の会期で開かれました。新年度にあたっての町長の施政方針表明があり、町長から提案された平成25年度一般会計予算、6特別会計予算、水道事業会計予算のほか、24年度補正予算、条例の改正などの30議案を慎重に審議し、いずれも可決しました。また、請願1件を採択しました。一般質問では6人の議員が登壇し、活発な質問をしました。

平成25年度 7会計総額

126億3,939万円

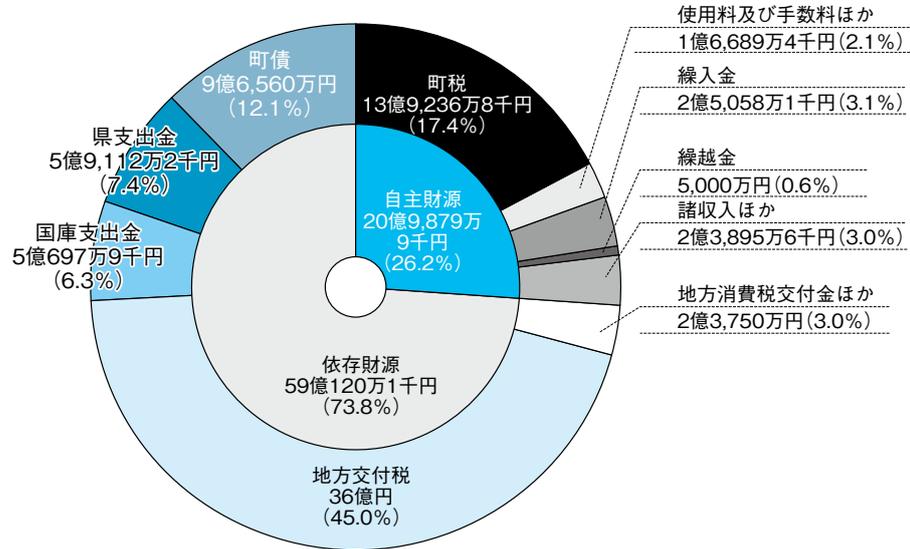
(対前年度比 ▲4.2%)

● 一般会計	80億円	(▲7.7%)
● 特別会計	46億3,939万円	(2.5%)
● 国民健康保険特別会計	20億4,643万円	(4.7%)
● 後期高齢者医療特別会計	2億6,541万円	(0.3%)
● 介護保険特別会計	13億9,614万円	(6.0%)
● 農業集落排水事業特別会計	2億9,731万円	(1.9%)
● 公共下水道事業特別会計	5億3,425万円	(▲7.8%)
● 簡易水道事業特別会計	9,983万円	(▲15.3%)

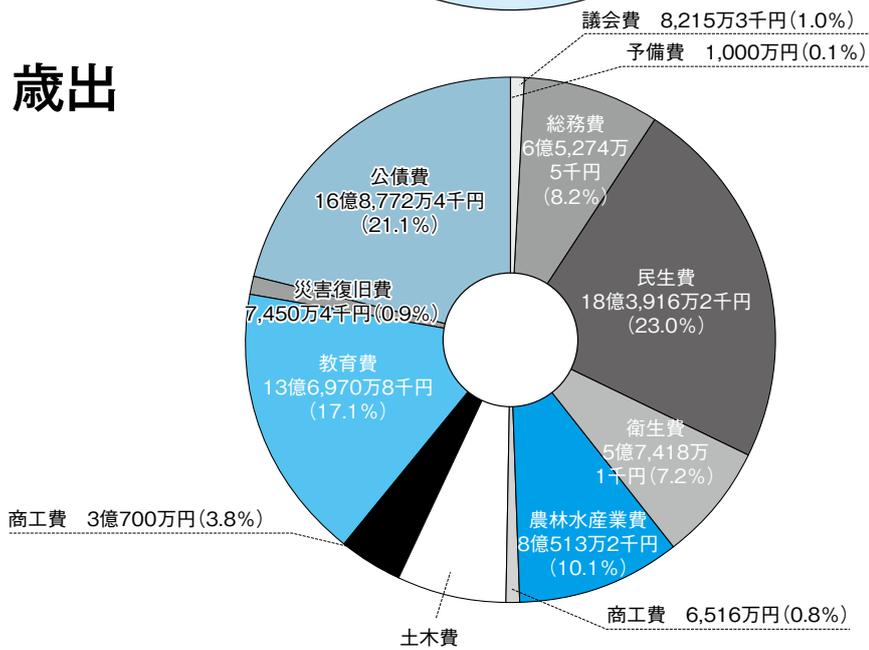
保健・福祉政策の推進

一般会計予算 80億円 (前年度比6億6,900万円減)

歳入



歳出



予算審査特別委員会 委員長報告

去る3月4日の本会議において、委員会に付託された平成25年度一般会計予算、6特別会計予算、水道事業会計予算の8件を3月12日から15日の4日間にわたって、町長も同席し、当局から説明を聞いて慎重に審査をおこないました。

その結果、一般会計予算については討論もありましたが、衛生費のうち備品購入費（パッカー車、ダンプ購入費）2,080万円は凍結としたうえで、原案のとおり可決するべきものと賛成多数で決定しました。

次に、国民健康保険特別会計予算は賛成多数で、その他5特別会計予算と水道事業会計予算の6件は全会一致により、すべて原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

各議案審査での委員会からの質疑や提言は広範囲にわたる内容でありましたが、予算の執行や予定事業の推進にあっては委員会の意見や結果の重みをしっかりと認識されたうえで対応していただきたい。

しもむら 下村 つとむ 勤 議員



防災 防災ラジオの難聴地対策

➔ 全地域の調査を実施、問題解決に努力



各戸に配布されている防災ラジオ

質問 一昨年9月の台風12号による豪雨により、国道を寸断し尊い青年の命を奪い、住民が一時孤立する状況が起りました。こういった災害から、住民を守り、緊急避難を周知するために、旧村全世界に防災ラジオを配布しました。その後、緊急放送が何回かありましたが、秋葉山から飛ばされている電波が山間部ではすべてクリアできず、折角大きな予算を投入したが、安心

できる情報システムも生かされていないのが現状であります。試験放送を繰り返し、状況を把握し、対策を。
町長 豪雨の際に、屋外スピーカーからの放送が聞き取りにくいので、各家庭に防災ラジオを配布しました。電波の出ている秋葉山の方向が、山などに隠れている地域や、鉄筋コンクリート製の建物とか、機密性の高い建物などいろんな条件により、受信できない場所があります。昨年4月から、電気店にお願いし、付属のアンテナを取り付けて対応を行いました。すべては解決できていません。防災ラジオは重要な情報伝達手段の一つであり、自主防災会と対応の努力を行っていきたく考えております。全地域

対象に調査し、中継アンテナがいいのかどうか業者を交えて、研究させていただきます。



ウソ鳥と被害にあった梅の木 (花芽がなくなっています)

質問 毎年見かけるウソ鳥が、今年は異常に多く、被害を受けている園地に行くと、ピンク色をした交配樹の木は枯れ木のようにすべ

て花を落とされ、周辺は花びらでいっぱいであり、有害の申請をし、猟友会にお願いをしています。補助金制

とされ、周辺は花びらでいっぱいであり、有害の申請をし、猟友会にお願いをしています。補助金制

農業 梅花の芯を食べるウソ鳥対策

町長 以前も鳩によって梅の花、蕾が食べられたという事があり、あの際、檻を作って捕獲したという実績があります。県、国の試験

研究機関と対策を講じる方法はないか、検討をしています。猟友会の補助金については、前向きに検討をいたします。

度も無く、なかなかうまく捕獲できません。

農業 ニホンザルの捕獲 年間600頭の捕獲目標

質問 隣の町では、サル追い隊が編成されていますが、サルの捕獲について今後どのように考えられますか。

町長 県が計画されている管理捕獲について、有田地方以南の10市町を対象地域とし、年間600匹を捕獲目標として取り組む予定で、大型檻を設置して餌付けをして捕獲する方法で、県で2箇所、市町で12箇所設置する予定であります。設置場所については猟友会と協議し、態勢が整えば県に設置要望していきたく思っています。

一般質問は、平成25年4月7日に6人の議員が行ないました。



いけだまさと
池田真作人 議員

生活 生活保護基準の引き下げについて

➔ 十分研究、必要事項は国へ要請

厚生労働省方針	制 度
生活保護基準を引き下げに連動させない	児童保護費等負担金等 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業 養育医療給付事業 結核児童療養給付事業 病児・病後児保育の利用料の免除 要保護世帯向け不動産担保型生活資金における1ヵ月の貸し付け上限額 介護福祉士等修学資金貸付事業等における生活費加算 戦傷病者特別看護法に基づく療養手当 特別支援教育就学奨励費
生活保護基準を引き下げの影響を与えない	介護保険の社会福祉法人等による利用者負担額軽減制度 幼稚園就園奨励費補助 独立行政法人自動車事故対策機構による生活資金の貸し付け (北方領土関連)遅延損害金の免除
自治体の判断しだいで生活保護基準引き下げの影響を与えないことが可能	保育所の保育料の免除に係る階層区分 児童入所施設措置の徴収金 障害児入所支援の措置 養護老人ホームへの入所措置 私立高等学校等授業料等減免 災害共済給付の共済掛金の一部免除 高等学校等奨学金事業
経過措置を設ける	受信機器購入等支援事業 住宅防音工事補助 生活保護等世帯空調和機器稼働費補助金交付 住宅防音事業(空調和機器昨日復旧工事) 空調和機器稼働事業
生活保護基準と連動させる	国民年金保険料の免除 国民健康保険・後期高齢者医療制度における一部負担金の減免に対する財政支援 介護保険料や高額介護サービス費等の段階区分 自立支援医療の負担上限月額等の支給 公害等調整委員会に調停等を申請する際の手数料の免除 中国残留邦人等に対する支援給付 国立ハンセン病療養所等入所者家族生活支援費 ハンセン病療養所非入所者給与金(援護加算分)
その他	国民健康保険・後期高齢者医療制度の適用除外 民事法律扶助の立替金の償還の免除・猶予 大学等授業料減免等 日本放送協会放送受信料の免除

生活保護に関する厚生労働省方針

質問 政府は8月より生活保護のうち生活扶助の部分在今后3年間で平均6・5%引き下げる決定をした。和歌山県で言えば約一週間の食費にあたる7千円が減らされるが町長の意見を聞きたい。

町長 国の制度でありますが最低限度の生活を守っていかなければなりません。

質問 生保を基準とした関連法が沢山あるが「表参照」町単独で

きる修学援助等は現状維持して欲しい。

町長 以前、町単独で出来るものには国の補助がありました。現在はなくなっていますので充分研究して実態を国の方へ挙げていきたいと思っています。

質問 福島原発事故から2年経つが未だに

収束しておらず、廃炉まで少なくとも40年の歳月と莫大な費用がかかると言われていて、安倍総理は安全が確認され次第再稼働していくと明言したが。

町長 福島状況を見た時に廃炉論については結果が出るまでは止めるのが妥当であろうと思います。ただ代替エネルギーについては、また別の問題であろうと思います。

質問 実際、大飯原発

が再稼働するまでは電力は足りていたし、核のゴミを保管するプールは全国的に8割ほど埋まっている。福島と同じレベル7のチェルノブイリ事故も27年経っても放射能の影響は残っている。ドイツ、フランス、イタリア等は両方の事故を見て順次廃炉にする事を決めた。日本は逆行していると思うが。

町長 核のゴミの処理方法もないのに見切り発車をしたと捉えています。これは電気を使う側にも責任があつて設置する場所、処理方法、代替エネルギー等クリアするまでは原発は中断することが望ましいと思います。

オスプレイ オレンジルートについて

誠意に遺憾

質問 昨日、急ぎよ、九州のイエロールート

から私たちの住むオレンジルートに変更され、印南町や日高川町では、職員やボランティアなどで監視体制を敷いたが、みなべ町は何かしたのか。あるいは計画はあるか。

町長 町村会としても昨年の9月にオレンジルートの変更、中止を知事を通して国に申し入れてるにもかかわらず、事前に何の説明もなく実施されることは誠に遺憾であります。今後も情報収集に努め、住民の皆様からの情報もお願ひしたいと考えています。



オスプレイ

さ さ き よしのり
佐々木 香徳 議員



生活 住宅リフォーム助成制度の新設について

➔安全・安心な施策としてあっても



全国自治体の住宅リフォーム助成制度関連記事

質問 地域経済刺激策として住宅リフォーム助成の新設はどうか。中小企業に仕事がない、大手との競争が激しい、が全国共通の悩み。3県530市町村で効果を発揮。町民が工事を町内業者に発注し、認定を受け、完成後に工事費の2割程度を助成するしくみ。奇想天外なアイデアでなく、県

によって「あつて当たり前」の内容。効率良い投資は証明済み。少ない予算でもぜひ採用を。
町長 「町内業者に…」が非常に良いと思います。よそへお金が流れるのではないからです。あとは、税金を個人に使うのを理解されるか、クリアする方法を勉強

したいと思います。
質問 「税金を個人に…」はいつもの慎重論。国もエコカー補助を出したから問題ないはず。
町長 税投入には考え方の相違がありますが、地域経済活性化の観点から考えますと良い制度で耐震改修にも有効です。少しずつでもと

言われますが、地域振興券では偽造防止の印刷代が高くなりました。
質問 「みすきいポイントで助成」を提案する。コストかけず地元でお金が循環する。
町長 この点を含めて検討します。安全・安心の政策として住宅改修があっても良いのではと思います。

るか本気度が問われる。促進協議会の町予算は年5千円。協議会自体を活性化せねば。高速道への熱意と雲泥の差だ。
町長 言い負けしないよう資料もそろえたいと考えています。町として全特急停車の要望も出したいと思います。
質問 指定席売切れは和歌山から先の話。「和歌山まで自由席3両、その先は2両」という手も。答弁は不要。

です。少しづつでもと
町長 税投入には考え方の相違がありますが、地域経済活性化の観点から考えますと良い制度で耐震改修にも有効です。少しずつでもと
町長 税投入には考え方の相違がありますが、地域振興券では偽造防止の印刷代が高くなりました。
質問 「みすきいポイントで助成」を提案する。コストかけず地元でお金が循環する。
町長 この点を含めて検討します。安全・安心の政策として住宅改修があっても良いのではと思います。

るか本気度が問われる。促進協議会の町予算は年5千円。協議会自体を活性化せねば。高速道への熱意と雲泥の差だ。
町長 言い負けしないよう資料もそろえたいと考えています。町として全特急停車の要望も出したいと思います。
質問 指定席売切れは和歌山から先の話。「和歌山まで自由席3両、その先は2両」という手も。答弁は不要。



特急くろしお

特急列車の自由席削減・鈍足化と紀勢本線活性化促進協議会について



きた たに せい じ
北谷 清治 議員

生活 木の川口(清川、木の川地区)に橋を
➔ 工法を県と相談しつつ検討



木の川口 国道計画ルート

質問 国道424号線の改修は災害復旧のトンネル工事と、もう一つのトンネル工事用の、長滝地区に橋を架けるための二つの橋脚工事が始まるようであり完成が待ち遠しいところでもあります。

ところで今計画されているルートは、当初の計画から少し変更されました。場所は木の川口周辺で、当初は現道を改修する計画でありましたので、町道との取り合わせも問題ないと思っていました。変更後はそこを通らず川向かいにルートが変更されました。そのため町道と新しい国道との合流点は、木の川口から少し下った場所となります。その場所は決して安全なところと

は言えません。国道の改修に伴い町道木の川線を直接国道に繋げる橋はできないものか、町長はどのようにお考えでしょうか。

町長 木の川口から川をまたいで新国道へは、外カーブの部分で接続となるため上下流への乗り入れは比較的スムーズになります。ただその部分に家屋があり、道路計画については慎重に進める必要があります。地元からの要望でもあり、検討してまいります。地元の要望も非常に厳しいものがあります。防災、減災道路に該当しないかなど、検討してまいります。

質問 この道は木の川地区のみなさんの生活道路であり、通学路でもあります。また災害時には区民会館が中心となるだろうと思いま



木の川口周辺

すが、そこへも行く道です。町長は「防災、安全の取り組みを図る」と施政方針で述べられていますが、それも含めて検討していただきたい。

工場の方法を県と相談させていただきますが、木の川口にできればと考えていますので、国道でやれない部分があつたとしても町で考えてみたいと思います。

町長 工場の方法等につきましても、県に聞いてみないとわかりませんが、今ある橋周辺に對岸への工場の仮

なかもと こういち
中本光一 議員



防災 県の津波浸水地域の想定発表に伴う防災対策について

⇒ 町民の生命を守る対策を



- 質問** 県の津波浸水の想定が出ましたら、優先的に行わなければならない事は
- ① 新たな津波浸水地域を踏まえたハザードマップの策定
 - ② 津波浸水時間に則した1次、2次、3次避難場所の選定
 - ③ それに伴った避難経路と道路の整備
 - ④ 民間の建物との協定
 - ⑤ 避難困難地域の1次

避難場所(避難タワー・地下シェルター)の具体的な取組み等です。以上①～⑤につきまして確認するとともに緊急な取組みを宜しくお願い致します。

町長 県から出された津波浸水想定は、どのような情報で、どのような対策が必要なのかということ役場、自主防災会、その他関係者がまず把握して、共通認識のもとで対策に乗り出す必要があるうかと思えます。1点目の新たな浸水想定を踏まえたハザードマップの策定を平

成25年度中のできるだけ早い段階での作成に努めて、各戸への配布を予定したい。続いて、避難場所の選定について、12メートル以上の高台は限られた場所になりますので、もし可能であれば津波避難ビルの指定も考慮しながら早期におこなってまいりたい。

次に避難経路、避難道路についてですが、避難場所が確定しますと安全な避難の観点から避難路の整備や避難誘導灯などの整備も必要があり、予算の確保ができた段階で必要箇所から対応してまいりたい。4番目の民間の建物との協定ですが、みなべ町には大きな建物が少なく、進めてまいります。5点目の避難困難地域の千鹿浦、気佐藤、南道、新町などは高台

には、少し遠く避難場所の確保が必要であると感じています。県でも以前より津波から逃げ切る支援プログラムの策定を行ない、今回の新しい津波浸水想定のもとで現行プログラム

生活 役場窓口業務のサービス拡大を
④ 時間延長を試行

質問 平日、役場に來る事ができない住民の方々への行政サービスの一環として、町の実情に則した方法で、通常以外での窓口業務を是非検討する必要があると思いますがいかがでしょうか。

町長 日曜日、開庁する。これがベストと思いますが、現在の体制でどうしていくかというときには、まず前段、7時まで時間延長をしてみて、状況を見なが



みなべ町役場 住民環境課窓口

ら、なおかつ、みなさま方の要望を取りまとめる中で日曜日に開く必要性が感じられればそのようにしていきます。



しんぞう けんじ 議員
真造賢二

農業 うめ21研究センターの存続意義について

➔ 農業後継者育成 & 農業体験型施設に

質問 うめ21研究センターは設立以来、様々な成果を上げてきたが、県うめ研究所誘致に伴いその役割が不明確になりつつあるのでは？今後の存続意義は？

町長 研究部門はスタッフや設備が充実している県うめ研究所に任せし、今後の一番の役割は後継者育成であり、気軽に集まっていただけのような梅未来塾や梅活性化センターのような活用ができませんかと考えています。また試験園を体験型観光に利用できるのではないかと考えています。

質問 南部川や島ノ瀬ダムには水位計はないのか？全ての情報を集し有効な避難警告の発令をお願いしたい。

町長 南部川には県管理の水位計が2ヶ所、南紀用水施設が1ヶ所、島ノ瀬ダムに1ヶ所（故障中）あり、平成24年2月に「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」を作成し水位情報や気象情報等の情報を総合的に判断し、避難勧告等を発令することになっています。

防災 水位感知による避難警報
↓ 県、国と捕獲方法検討



須賀橋に設置されている水位計
県HPで随時水位を確認できます



提言 目安箱必要
↓ 早急に設置

質問 町政に対するアイデアを募るために目安箱やHP上の投書コーナーを設けては？

町長 特に予算が必要なものではないので早急に設置を検討したい。

設置場所は各公民館が良いのではと考えています。またHPもリニューアル予定です。そういうコーナーを設けることも検討いたします。

財政 ふるさと納税

↓ 節度あるPR

質問 ふるさと納税は双方にとつて素晴らしい制度。HP上以外にも同窓会や各地のみなべ会などの機会を捉えてPRされては？

町長 過度なPRは都会と田舎の不公平感を招きかねませんので慎重に考えてまいります。

安全 谷口・常楽線の安全な通学路整備
↓ 難題だが悲願実現に尽力

質問 谷口・常楽線の安全な通学路整備は晩稲、熊岡地区保護者の悲願。難題というのは理解するが、避難路という観点からも前向きな取り組みをお願いしたい。また道路整備がすぐに不可ならスクールゾーンの指定はできないか？

町長 この道の改良、歩道整備は合併以前の課題です。様々な計画を探ってきました。重に進める必要があります。同窓会や県会ではそういう場としてふさわしいというのは同感です。チラシ等を用意し幹事さんや会場にご協力を頂きながら少しでも応援して頂ける方法を考えてまいります。

教育長 スクールゾーンの指定は幹線道路ということもあり、指定はかなり困難であろうと考えます。

既に各公民館に設置されています

議会活性化特別委員会 設置

1. 設立の目的

分権時代における今後の町議会運営のあり方が問われる中、議会はより多くの町民が納得できる政策形成機能の充実が必要であり、その機能を十分に発揮し、町民の負託に的確に答えることを目指した議会の活性化を図るため、議員発議により「議会活性化特別委員会」を設置することにいたしました。

住民側から見ると議会は距離を置いた存在で、議会離れの状況になりつつあります。それを是正すべく町民の皆さんとの対話や町民参加の機会を設けて意見交換したり、議会の情報を公開していく「開かれた議会」を目指し様々な施策を講じてまいります。

また議会は常に住民の意向が議会審議を通じて町政に反映されるべく機能する必要があります。そのためには審議体制や審議方法、議員資質の向上を図りつつ、より「活発な議会活動」を目指してまいります。

2. 委員会の構成

田中議長を除く、全議員13名で構成。委員長は竹本議員、副委員長は下村議員。

3. 具体的な取組内容

着手済みの事項

- 予算審議特別委員会の設置（傍聴可）
- 「議会だより」の工夫

未着手の事項……案の一部をご紹介します。実施判断は今後の委員会で協議していきます。

- 通年議会の開催
- 議会中継（インターネットを活用したオンデマンド動画の配信）
- 議会基本条例の制定（住民懇談会開催、議会報告会開催など）
- 傍聴人への議会資料の貸し出し
- 休日・夜間議会の開催
- 子供・婦人議会の開催（模擬議会の開催）
- 議事録のウェブ上での公開

議長謝罪

3月7日の佐々木議員の一般質問におきまして、行き過ぎた言動がありました。町民の皆様方、そして町行政に対して多大なご協力を賜ってくださった区長様方、また、町長はじめ執行部の方に対する暴言に近い言葉がありましたことを、議会として深くお詫び申し上げます。

私たち議員は町民の負託を受けて活動をしています。言動については責任もあり、常に気を付けて行動すべきであります。当局と議会の立場は違いますが、目指す方向は同じで、町民の皆様方の幸せを願う行動であり、活動であると思っています。

今後かかることのないよう原点に立ち戻り、自分の議員としての職責をまっとうすることをお誓い申し上げて、私のお詫びの言葉とさせていただきます。

この度は、誠に申しわけありませんでした。

事務組合議会議員活動報告

- **和歌山県後期高齢者医療広域連合議会 定例会**
 - ・日時 平成25年2月12日
 - ・場所 和歌山ダイワロイネットホテル
 - ・出席 田中議長
 - ・内容 条例改正、予算審議
- **田辺周辺広域市町村圏組合議会 平成25年第1回定例会**
 - ・日時 平成25年2月19日
 - ・場所 田辺市役所
 - ・出席 田中議長、竹本副議長
 - ・内容 予算審議
- **田辺市周辺衛生施設組合議会 平成25年第1回定例会**
 - ・日時 平成25年2月20日
 - ・場所 田辺 清浄館
 - ・出席 下村議員、原田議員、谷本議員
 - ・内容 条例改正、予算審議
- **御坊日高老人福祉施設事務組合議会 平成25年第1回定例会**
 - ・日時 平成25年3月5日
 - ・場所 御坊日高老人福祉施設事務組合
 - ・出席 田中議長
 - ・内容 条例改正、予算審議
- **日高広域消防事務組合議会 平成25年第1回定例会**
 - ・日時 平成25年3月5日
 - ・場所 日高広域消防本部
 - ・出席 森坂議員
 - ・内容 条例改正、予算審議

請願書 採択

「過疎地の郵便局のサービス水準確保に関する請願書」

改正郵政民営化法（平成24年法律第30号）が成立し、郵便・貯金・保険の三事業一体サービスの確保、金融ユニバーサルサービスが日本郵便株式会社に義務付けられた。ところが、平成24年8月26日付読売新聞によると、日本郵便株式会社は過疎地の郵便局をグループ分けし、隔日営業や半日営業にするよう計画していると報道された。もしこれが実行されれば、金融ユニバーサル水準は後退し、改正法の趣旨にも抵触するものである。

たとえ報道された計画どおりでなくても、この類のサービス切り下げ策が過疎地域の郵便局の廃止につながるのには目に見えている。山間部を含む当町にとって看過できない重大事態である。

一昨年来、東日本大震災はもとより各地で大きな災害が続いたが、郵便局が復旧し被災者救援の役割を果たしたことが、被災地住民の大きな心の支えとなった。地域再生・地域復興の核となる郵便局は、過疎地域にとって不可欠であり、そのサービスを将来にわたって維持・確保するよう求めるものである。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

上記請願書を採択し、意見書として衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣に提出します。

産業建設常任委員会 活動報告(1)

平成25年2月13日 有田川町への行政視察を行いました。目的は先進的な有田川町のゴミ行政を勉強し、みなべ町への水平展開の可能性を探るためです。みなべ町から8名の議員が出席し、有田川町・担当者、議会議長からゴミ行政について丁寧な説明をして頂きました。

有田川町は「分ければ資源、混ぜればただのごみ」をモットーに徹底した減量化に取り組んでいます。その先進的な取組には見習うべき点が多くあると感じました。みなべ町のごみ焼却場は平成26年3月に稼働停止となります。その機会を捉え、従来のごみ行政を0から見直し、徹底した合理化を図っていく必要があるのではないのでしょうか？有田川町の取組で特筆すべきは、行政が自ら従来のしがらみを断ち切り、徹底した合理化を推進してきていることです。また、町民も行政の方針に積極的に協力し、分別化・減量化に取り組んでします。そうした官民一体となった取組の結果、大きな成果をあげて至っています。またこのような合理化による余剰金を基金として積み立て、コンポスト購入や太陽光発電等、低炭素化社会作りに拠出され、町民に還元される素晴らしいシステムになっています。



朝日新聞 2008年(平成20年)2月27日

《有田川町のごみ行政の経緯》

有田川町は平成18年に旧吉備町、旧金屋町、旧清水町が合併して誕生。各町が合併以前から実施していた「ごみ処理基本計画」を踏襲し、ごみ減量化計画を策定、実施し、大きな成果を上げている。

●平成18年度 ごみ収集業務(プラスチックごみ、不燃ごみ)の一般競争入札実施

平成18年度決算	2,142万円
平成19年度決算	1,332万円
削減額	810万円

●平成19年度 資源ごみ収集運搬処分業務の一般競争入札実施

平成18年度決算	2,385万円
平成19年度決算	▲50万円
削減額	2,436万円

●平成23年度 ごみ収集業務(可燃ごみ)の一般競争入札実施

平成23年度決算	2,869万円
平成24年度決算	1,716万円
削減額	1,152万円

両町の比較

		みなべ町		有田川町	
面積		120 km ²		352 km ²	
世帯数		4,798世帯		10,201世帯	
人口		13,917人		27,642人	
ごみ排出量 (平成23年度) (単位:トン)	可燃ごみ	3,065		3,812	
	資源ごみ	754		1,603	
	埋立ごみ	94		(粗大ごみ/不燃ごみ) 393	
	合計	3,913		5,808	
ゴミ収集運搬料決算見込額・発注形式(平成24年度)	可燃ごみ	随意契約	6,831万円	入札	1,716万円
	プラ不燃ごみ	-	-	入札	1,204万円
	資源ごみ	随意契約	1,200万円	入札	▲123万円
ゴミ袋	種類	燃やすごみ/資源ごみ/埋立ごみ		燃えるごみ/燃えないごみ プラスチック/ビン/カン・ペットボトル	
	価格(大サイズ10枚入)	450~350円		250~150円	

注) ごみ収集車についてはみなべ町の場合、購入、維持費も含め収集業者に一括委託。有田川町は資源ごみ以外は町有の収集車を使用。

産業建設常任委員会 活動報告(2)

平成25年4月23日8時30分から14時30分の間 すさみ町ごみ焼却場(住民環境課)、小倉谷農免道路整備状況(産業課)、第3水源池現地(上下水道課)を各課長、担当者から説明を頂きながら視察しました。

すさみ町ごみ焼却場

みなべ町ごみ焼却場の稼働停止(平成26年3月)に伴い、その後3年間、すさみ町にごみの焼却処理を委託することになっており、4月2日に協定が締結されました。実際に処理をしていただく焼却場を確認し、ごみ処理の現状、みなべ町分のごみ引受後の計画など、町の課題解決に向けての現状把握が必要とのことから今回の視察を行うことにしました。

みなべ町役場から約47km、所要時間は一般道で約1時間15分でした。すさみ町の担当課長、担当者から丁寧な説明を受けて頂きました。施設は炉が二つあり、1日の処理能力は15トンとのこと。特筆すべきは排ガス高度処理・灰固化施設工事が完了したことにより、ダイオキシン類などの排出規制に万全の配慮がされている点です。煙突からの煙は目視できませんでしたし、臭いや騒音も全くといっていいほどありませんでした。またごみから出る浸出液等は隣接する「し尿処理場」において直接処理されますし、焼却場に必要なた水もその処理水を流用しており、見事なサイクルができています。

1日当たりのごみの搬入量はすさみ町が約5トン、みなべ町が約10トンの計15トンです。処理仕切れないごみはストック



すさみ町ごみ焼却場の外観

ヤード(屋根付きの小部屋)を新たに建設し、一時保管し対応する計画です。その予定地を確認し、計画図も見せて頂きました。

【視察後の総括】

- 他町へごみ処理をお願いする立场上、ごみ袋への記名を徹底して、自分の出すごみに責任を持つて貰う必要がある。
- 抜本的なごみの減量化が必要。莫大なごみ処理費用の抑制。
- そのためにはごみの分別化による可燃ごみの削減↓リサイクル化がポイント。資源ごみの回収拠点の見直しも必要
- パッカー車購入予算を凍結したが、議会としての代案が必要。焼却場への直接持込ごみへの対処が焦点。住民環境課との十分な意見交換必要。



小倉谷農免道路

現在の進捗率は国補助分が61%、町単独分が36%です。当初の計画では平成26年3月の完成予定でしたが、大水害復旧予算捻出のため土砂の運搬元であった田辺・西バイパス予算が凍結されたため、計画が大きく遅れています。現在すさみへの高速道路延長工事の排出土に頼っていますが、距離的に遠く、搬入量は約1.3万m³と最盛期の半分に落ち込んでいます。そのため国補助分の計画内完成を優先するとともに、空車を東本庄・本郷側へ回し、回転数を増やし、搬入量の確保に努める計画とのことです。



小倉谷農免道路工事現場 トンネル位置に注目!

総務文教常任委員会 活動報告(1)

平成25年2月25日 給食センター、清川保育所改築現場、学童保育所の視察を行いました。

平成25年2月25日、委員会では町内全小中学校の給食実施にむけ、ほぼ完成された給食センターと、清川保育所改築現場の工事進捗状況等、更に工事完了間近の上南部学童保育所の視察をおこない、各々の現場では、各担当課から説明を受けました。

給食センターについては、数量的に十分な調理能力を持っており、保育所・幼稚園の給食や、災害時の対応にも検討していかねければならないのではないかと。また、清川保育所については、園児数が減少しており、今後の保育所のあり方を見守っていかねばいけません。学童保育所は平成25年度の入所予定者が16名で、定員数1/3弱であり、更に多勢の園児が利用していただけるよう呼びかけなければ。など委員から意見が出されました。

給食センター 竣工式
3月24日



清川保育所 開所式
4月2日

上南部学童保育所 竣工式
4月28日



視察後、次々に竣工式が執り行われました

総務文教常任委員会 活動報告(2)

平成25年4月24日 ヘリポートの完成状況、避難路の整備状況の視察を行いました。

委員会では、災害時に必要なヘリポート及び現在完成している主な各地区の避難路の視察をおこないました。概要は下の表の通りです。問題点は、

- ①ヘリポートへの一部狭い道の拡幅
- ②避難路・避難場所に常備すべき物

- 標識
- 防犯灯
- 備蓄品
- 飲料用水

尚、今回の視察で感銘したのは、一部の地区の方たちが、自分たちの手で避難路を数ヶ所にわたって設置している事です。住民が手作りで整備した避難路であり、防災意識の向上にもつながります。

これらの避難路を訓練などで利用し、避難場所や避難路を周知していくことが大切です。

みなべ町全体でこの気運が高まる様、町民の皆様のご協力宜しくお願い致します。



ヘリポート



西本庄・五味地区



小目津公園



鎌田池公園



猪野山公園

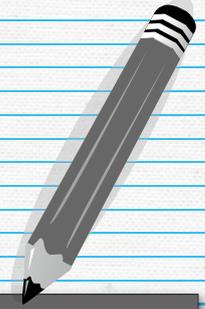


堺・袖摺地区

視察場所名	南部川右岸地区 ヘリポート	西本庄地区 避難路	小目津地区 避難路	東吉田地区 避難路	芝崎地区 避難路	堺地区 避難路
所在地	筋・前谷	五味	小目津公園	鎌田池公園	猪野山公園	袖摺
施設規模	465㎡ (アスファルト部分)	長さ25m 幅1.5m	長さ150m 幅1.5m	長さ43m 幅1.5m	長さ49m 幅1.5m	長さ110.5m 幅1.5m
費用	661万円	97万円	700万円	131万円	362万円	20万円
完成日	平成25年1月18日	平成25年3月末日	平成24年11月末日	平成25年3月末日	平成24年11月末日	平成24年12月
目的	●非常時の物資の搬入 ●ドクターヘリの離発着	●台風12号で被災 大雨洪水の災害対策	●公園・海岸で遊んで いる人の避難路	●鎌田池公園より高い 岡の段への避難路	●猪野山直登ルート ●防犯灯2基完備	●堺地区自主防災会で合 計四か所に独自で設置

*堺地区は「町の減災補助金」を利用し地区の方々で建設、他の地区は県よりの半額の補助金により整備

議員の質問とその後の行方



平成25年5月定例会 一般質問

ごみ焼却場の稼働停止に伴う
受け入れ先などについて

町長答弁

平成26年3月末までに
現施設の停止

どうなった

結 果

平成26年から3年間、みなべ町から出る可燃性一般廃棄物の焼却処理はすさみ町に委託します。その後、田辺市周辺広域市町村圏組合(田辺市、白浜町、上富田町、すさみ町、みなべ町で組織)は圏内にある一般廃棄物の6ヶ所の焼却施設を将来的に統一化する構想を進めています。

平成25年5月定例会 一般質問

改良住宅解体後の
跡地利用について

町長答弁

国の補助金を受ける際に持家
施策の推進を図るように指導
があり、その指導に基づき検討

どうなった

結 果

国の指導に沿った方向で今年
度中に具体的な利用方法を策
定したい。



追跡調査

あのか、議員が一般質問した内容や各委員会が提
言した内容が、町施策にどのような内容で反映した
かを確認するための調査です。

平成17年12月定例会 一般質問

役場職員に
防災士の資格取得を

町長答弁

防災組織計画との関わりも
含めて研究課題

どうなった

結 果

役場職員は、災害時には職員として応
急対策等に取り組む役割があり、その
ための訓練、研修を実施しています。
防災士は、地域での防災意識を高め
る防災リーダーとして期待されるこ
ろであり、各地域の自主防災会で育成
していくことが理想であると考えます。

平成24年3月定例会 一般質問

山間地対策
光通信の整備を

町長答弁

高城・清川地区において早期
に光通信サービスを開始する
ように要望

どうなった

結 果

日高郡町村会及び日高郡議長会を
通じて要望を提出(25年1月)して
います。民間によるサービスですが、
今後、県にも要望し、早期のサービ
スエリア拡大を目指します。

☆お☆知☆ら☆せ☆

3月定例議会での一般質問の結果、下記の事項がすでに実施されています。
(広報みなべ5月号掲載)

●窓口業務の時間延長

4月から住民票と印鑑証明証の発行業務は通常の午後5時15分から延長され、午後7時まで行われています。

●提案箱の設置

各公民館および岩代分館に「提案箱」が設置されています。町政に対して直接、意見や提案を訴えることができます、積極的に活用してください。

☆役場の皆様、迅速に対応していただき、ありがとうございます。

●新・議会事務局長紹介

この度、寺谷敦さん（清川）を新・事務局長にお迎えいたしました。

この場をお借りしてご紹介させていただきます。

〈寺谷さんより一言〉

「議会事務は初めてです。町民の方々から選ばれた議会議員の縁の下の力持ちとして、皆様のご協力をいただきながら、円滑な会議運営に心を配ってまいりたいと思います。

よろしく願います。」



〈略歴〉

昭和53年旧村役場採用後
公民館、総務課、建設課を歴任
田辺広域任意合併協議会出向
南部町南部川村合併協議会出向
等を経て、総務課副課長の後に
議会事務局長に就任。

●議会や議会だよりへの意見や感想を募集しています。どんなことでも構いません、お寄せください。

みなべ町議会だより No.32

平成25年6月1日発行

発行 みなべ町議会

編集 議会広報特別委員会

〒645-0002

和歌山県日高郡みなべ町芝742

TEL 0739-72-1334

FAX 0739-72-1335

ようこそみなべ町へ

他市町から嫁いで来られたお嫁さんの紹介コーナーです



木下 史織さん & 慧太さんご夫婦（山内）

みなべ町へ嫁いで来たお嫁さん、今回は岩出市出身で平成24年6月30日に、木下慧太さん(山内)と結婚されました木下史織(旧姓:中村)さんの紹介です。

Q どんなきっかけで、慧太さんと知り合いましたか？

→友人の結婚式で新郎、新婦それぞれの友人として出席した席で知り合いました。

Q みなべ町に嫁いできて感じたことは？

→自然が豊かで、町の人もとってもやさしいと思いました。

Q 町での生活はどうか？（楽しい新婚生活のエピソードもあったらお聞かせ下さい。）

→だんなさんがとても楽しい人なので、知らない土地に来て不安は余り感じませんし、今は家族3人になってとても楽しく過ごしています。

Q 町に望むことはありますか？

→私のように他市から嫁いで来たお嫁さんたちが知り合っ、色々な情報交換ができる場所やイベントがもっとあればうれしいです。

◎木下史織さん、ご協力ありがとうございました。

広報特別委員会
副委員長 真造 賢一

予算が決まり、いよいよ新年度のスタートです！
今号も「新・議会だより」として見やすく、親しみやすい役立つ情報発信をテーマに取組みました。
一般会計の説明では、従来の質疑・応答形式を止め、分野を明確化しつつ「ここがポイント」と解説を加えました。
常任委員会の活動報告には4ページを費やし、画像や表を用い、詳細かつ正確にお伝えしようと務めました。少々盛りだくさんな内容になりましたが、
また今号から汎用ソフトであるEXCEL、WORDによる完全なデジタル編集にトライしたのですが、苦勞しました。
今後ともより良い「議会だより」を目指し、改良を続けて参ります。お気づきの点がありましたら、何なりとお寄せください。

編集後記